



ブライツ・アセット株式会社

## BIS : 世界の為替取引量調査

米ドルは引き続き基軸通貨、円のシェアは低下、新興国通貨の取引量は増加。

国際決済銀行（BIS）が3年毎に調査している為替取引量が公表されました。

為替の取引量は3年前に比べて増加しました。特に通貨スワップの取引量が大きく増加しました。

2019年4月の1日当たりの取引量は、6.6兆ドルとなり、2016年の5.1兆ドルから増加しました。特にデリバティブの取引が大きく増加しました。通貨取引のうち米ドルが対象となったのは全体の88%を占め、引き続き通貨取引の中心でした。ユーロは32%、日本円は、第3位を維持したものの5%減少し16.8%に低下しました。新興国通貨は3.5%増加し、24.5%を占めていました。人民元は8位で4.3%と低いままでした。（通貨ペアなので、全体は200%になります）スポット取引は、3%減少し全体の30%まで低下しました。一方、為替スワップは為替取引全体の49%を占めました。NDF取引の増加を背景に、フォワード取引量も増加しました。

機関投資家の取引割合が減少し、その他金融機関やヘッジファンド・PTFsなど自己運用機関の取引量が3.6兆ドルとなりシェアは55%に達しています。大手銀行（インターバンク）の市場シェアは低下傾向です。市場別では、イギリス、アメリカ、シンガポール、香港、日本で全体の取引量の79%を占め、特にイギリスと香港の伸び率が大きかったようです。中国も伸び率は高く、世界第8位の為替市場に成長しています。

2019/11/13

金融商品取引業者：ブライツ・アセット株式会社  
登録番号：関東財務局長（金商）第3102号  
加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
HP：www.brightasset.co.jp

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライツ・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。

## BIS：世界の為替取引量調査

米ドルは引き続き基軸通貨、円のシェアは低下、新興国通貨の取引量は増加。

### 国際決済銀行（BIS）の世界為替取引高調査

国際決済銀行（BIS）が3年毎に調査している為替取引量の結果を公表しています。

為替の取引量は3年前に比べて増加しました。特に為替スワップの取引量が大きく増加しました。2019年4月の1日当たりの取引量は、6.6兆ドルとなり、2016年の5.1兆ドルから増加しました。特にデリバティブの取引が大きく増加しました。

因みに、2019年4月の米ドル/日本円の平均レートは111.64円でしたので、日本円に換算すると1日平均737兆円もの取引があったようです。この金額は日本のGDPの約1.5倍です。1990年代は日本の貿易黒字が続いていましたが、年間の累積貿易黒字額が、ほぼ10兆円でしたので、とてつもなく大きな取引が行われています。

出所：「Triennial Central Bank Survey of Foreign Exchange and Over-the-counter (OTC) Derivatives Markets in 2019, September 2019」

<https://www.bis.org/statistics/rpfx19.htm>

### 通貨別取引量（グラフ1・2、表1・2参照）

通貨取引のうち米ドルが取引対象となったのは全体の88%を占め、引き続き為替取引の中心でした。ユーロは32%、日本円は、第3位を維持したものの5%減少し16.8%に低下しました。新興国通貨は3.5%増加し、24.5%を占めていました。人民元は8位で4.3%と低いまでした。（通貨ペアなので、全体は200%になります）

ユーロは引き続き世界第2位の取引通貨となっています。ユーロ/日本円やユーロ/スイス・フランの取引が相対的に伸びています。

日本円の取引量のシェアは低下し17%まで低下しましたが、まだ世界第3位の取引量となっています。米ドル/日本円のボラティリティーが低かったのが影響したようです。米ドル/日本円の取引量は極端に落ちています。しかし、ユーロ/日本円や豪ドル/日本円の取引は増加しています。金利差から新興国通貨とのクロス取引が大きく増加しています。トルコ・リラ/日本円、南アフリカ・ランド/日本円、ブラジル・レアル/日本円は3年前から倍増しました。これら3通貨ペア合わせた1日平均の取引量は、2016年の70億ドルから2019年は120億ドルまで増加しました。

英ポンドは13%、豪ドルは7%、カナダ・ドルは5%、スイス・フランは5%と前回調査とほぼ同じでした。

人民元の国際化は進んでいないようです。1日平均の取引量は、2,840億ドルと世界第8位と新興国通貨のなかでは最大となっています。

アジア諸国の通貨取引量も拡大しています。特に香港ドルの取引量は倍増しています（ランキングは13位から9位まで上昇）。その他韓国ウォン、インド・ルピー、インドネシア・ルピーも増加しています。しかし、新興国のなかでも、トルコ・リラやメキシコ・ペソのランキングは低下しています。

### 取引種別取引量（グラフ3、表3参照）

スポット取引は、3%減少し30%まで低下しました。1日平均の取引量は、2.0兆ドルでした。一方、為替スワップは為替取引全体の49%を占めました。NDF取引の増加を背景に、FXフォワード取引量も増加しました。

スポット取引の取引金額は、2016年よりは増えましたが、2013年よりは小さいかたようです。全取引のうちのシェアは、203年、2016年、2019年とそれぞれ、38%、33%、30%と低下し続けています。

一方、為替スワップ及びフォワード取引のシェアは大きくなっています。為替スワップの取引は主に資金調達的手段として利用されているほか、為替リスクのヘッジにも使われているようです。1日当たり3.2兆ドルもの取引が行われており、取引シェアは約半分を占めています。特に米ドルは為替スワップ取引の中で91%のシェアとなっており、米ドルへの投資運用ニーズが高いことを示しています。為替スワップ取引量3.2兆ドルのうち、2.06兆ドル(64.4%)は、7日以内の取引で短期の為替スワップ取引が多いようです。因みに、1か月以内は、4000億ドル(12.4%)、3か月以内は、5200億ドル(16.2%)となっていました。

フォワード取引は9990億ドルの取引量があり、集計するたび取引量は大きくなっています。全体取引量の15.2%になります。フォワード取引は為替スワップよりも為替リスクのヘッジに利用されることが多いようです。米ドルのシェアが88%とこちらも米ドルでの資産運用ニーズが大きいことを表しています。期間別にみると、7日以内が2910億ドル(27%)、1か月以内が2910億ドル(29%)、3か月以内が3220億ドル(32%)、6か月以内が710億ドル(7%)という内訳でした。フォワード取引の名目でも、NDF取引<sup>注3</sup>が2016年と比べて2019年は非常に多くなりました。対象通貨は、韓国ウォン、インド・ルピー、ブラジル・レアルのNDF取引が多くなりました。

### 取引業者別取引量（グラフ4・5、表4参照）

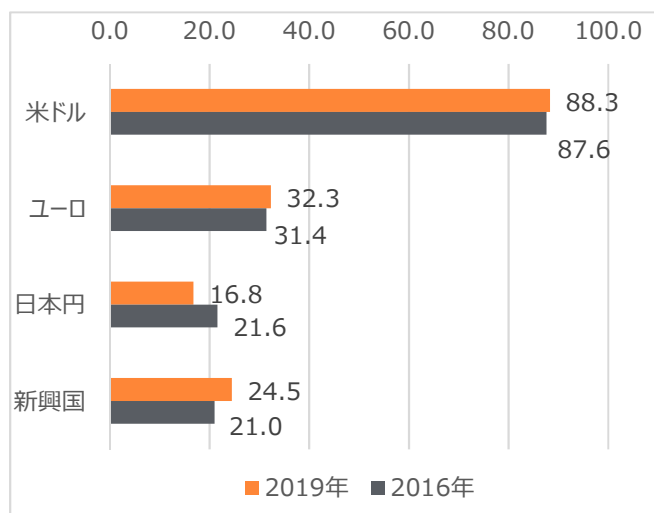
機関投資家の取引割合が減少し、その他銀行やヘッジファンド・PTFsなど自己運用機関の取引量が3.6兆ドルとなりシェアは55%に達しています。大手銀行の市場シェアは低下傾向です。

大手銀行（インターバンク）の取引シェアは40%を割り込んでいます。特にスポット取引のシェアが減少しています。しかし、為替スワップ取引やフォワード取引、通貨スワップ取引は大きくなっています。

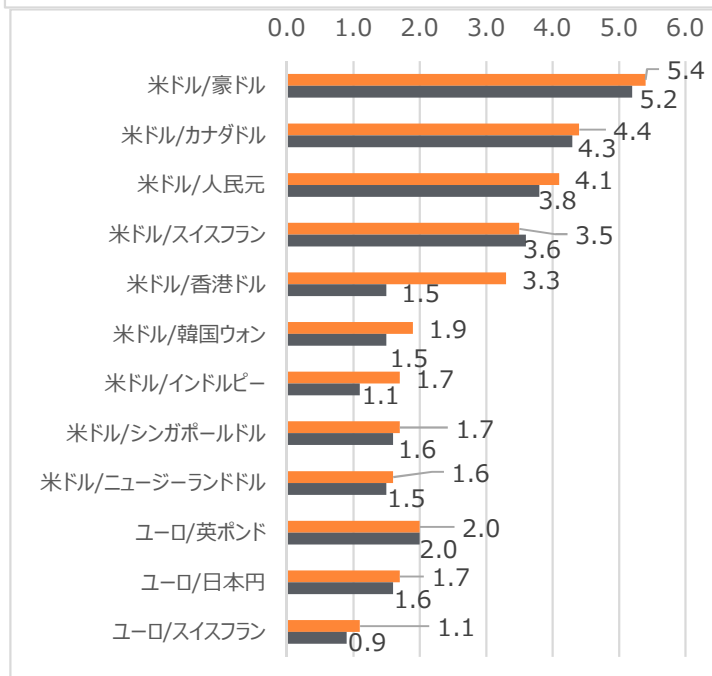
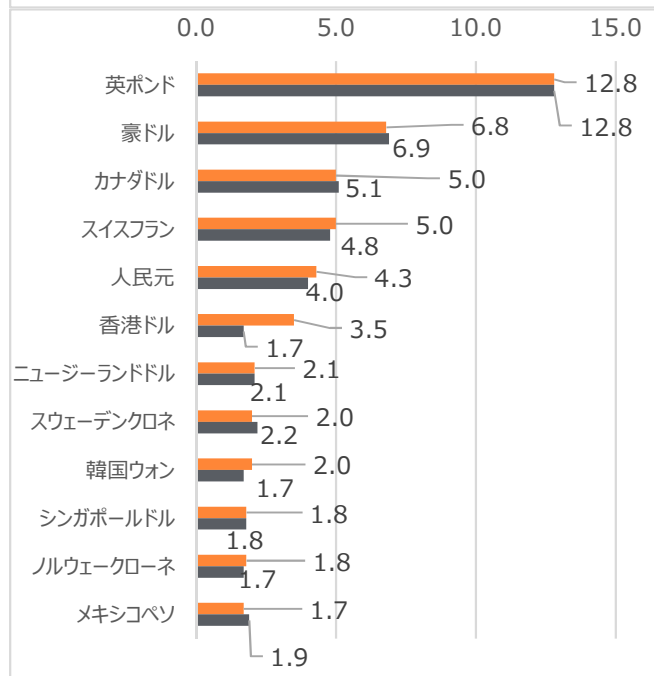
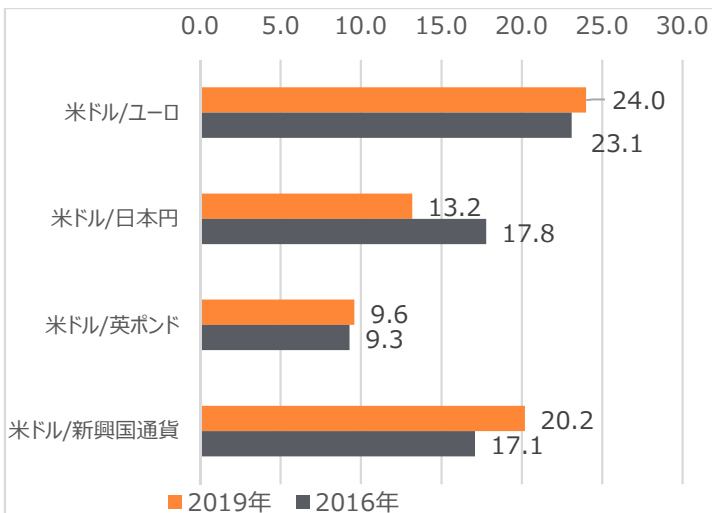
中小銀行、ヘッジファンド、PTFs、機関投資家、政府機関の為替取引量は大きくなっています。3.6兆ドルの取引規模があり、全体の55%になります。マーケットメイクをしない金融機関の取引が特に大きくなっています。このセクターだけで、1.6兆ドルの規模があり、24%に相当します。ヘッジファンド及びPTFsは5930億ドルで9%でした。プライム・ブローカーは1.5兆ドルで2016年に比べて68%取引量が増えています。一方、機関投資家の取引量は減少しておりシェアは、2016年時の16%から12%まで落ちてきました。非金融機関である事業会社の取引シェアも7%と若干低下しました。

注1：NDF取引はNon-Deliverable Forwardの略です。NDF取引では、元本を直接取引するのではなく、あらかじめ決められた取引価格（NDF価格）と決済時の実勢価格との差額を米ドルなどの主要通貨で差金決済します。通貨自体の流通量が制限されていたり、取引量が極端に少ないといった新興国通貨を対象とした取引に多く見られ、為替ヘッジを行う場合、その通貨自体での取引が難しいことから、NDF取引が利用されています。また新興国通貨などを対象とする通貨選択型の投資信託でも投資手法としてNDF取引を活用しています。

グラフ1：ベース通貨別為替取引シェアの推移  
(2019年4月対2016年4月、単位：%)



グラフ2：通貨ペア別為替取引シェアの推移  
(2019年4月対2016年4月、単位：%)



出所：「Triennial Central Bank Survey of Foreign Exchange and Over-the-counter (OTC) Derivatives Markets in 2019, September 2019」よりブライト・アセット作成

### 市場別取引量 (表5参照)

為替取引は、大きな取引センター市場での取引に集中しています。

市場別では、イギリス、アメリカ、シンガポール、香港、日本で全体の取引量の79%を占め、特にイギリスと香港の伸び率が大きかったようです。中国も伸び率は高く、世界第8位の為替市場に成長しています。

アメリカの取引シェアは2016年の20%から17%に減少しました。一方、イギリスは6%上昇し、全世界の取引量の43%を網羅するまで拡大しています。アジアの取引ハブであるシンガポール、香港、東京は20%となっていますが、シンガポール及び東京はシェアを落としています。香港は1%上昇しました。

中国の取引量は2016年の調査から87%上昇し1360億ドルの取引規模となりました。ランキングも13位から8位まで上昇しました。

表1：ベース通貨別取引量のシェア推移（単位：％）

	2004年	2007年	2010年	2013年	2016年	2019年
米ドル	88.0	85.6	84.9	87.0	87.6	<b>88.3</b>
ユーロ	37.4	37.0	39.0	33.4	31.4	<b>32.3</b>
日本円	20.8	17.2	19.0	23.0	21.6	<b>16.8</b>
英ポンド	16.5	14.9	12.9	11.8	12.8	<b>12.8</b>
豪ドル	6.0	6.6	7.6	8.6	6.9	<b>6.8</b>
カナダ・ドル	4.2	4.3	5.3	4.6	5.1	<b>5.0</b>
スイス・フラン	6.0	6.8	6.3	5.2	4.8	<b>5.0</b>
人民元	0.1	0.5	0.9	2.2	4.0	<b>4.3</b>
香港ドル	1.8	2.7	2.4	1.4	1.7	<b>3.5</b>
ニュージーランド・ドル	1.1	1.9	1.6	2.0	2.1	<b>2.1</b>
スウェーデン・クローネ	2.2	2.7	2.2	1.8	2.2	2.0
韓国ウォン	1.1	1.2	1.5	1.2	1.7	2.0
シンガポール・ドル	0.9	1.2	1.4	1.4	1.8	1.8
メキシコ・ペソ	1.1	1.3	1.3	2.5	1.9	1.7
インド・ルピー	0.3	0.7	0.9	1.0	1.1	1.7
露ルーブル	0.6	0.7	0.9	1.6	1.1	1.1
南アフリカ・ランド	0.7	0.9	0.7	1.1	1.0	1.1
トルコ・リラ	0.1	0.2	0.7	1.3	1.4	1.1
ブラジル・レアル	0.3	0.4	0.7	1.1	1.0	1.1
台湾ドル	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.9
タイ・バーツ	0.2	0.2	0.2	0.3	0.4	0.5
インドネシア・ルピー	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4
マレーシア・リングgit	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4	0.1
その他	10.0	12.4	8.6	6.4	7.2	7.6
合計	200	200	200	200	200	200

出所：「Triennial Central Bank Survey of Foreign Exchange and Over-the-counter (OTC) Derivatives Markets in 2019, September 2019」よりブライト・アセット作成

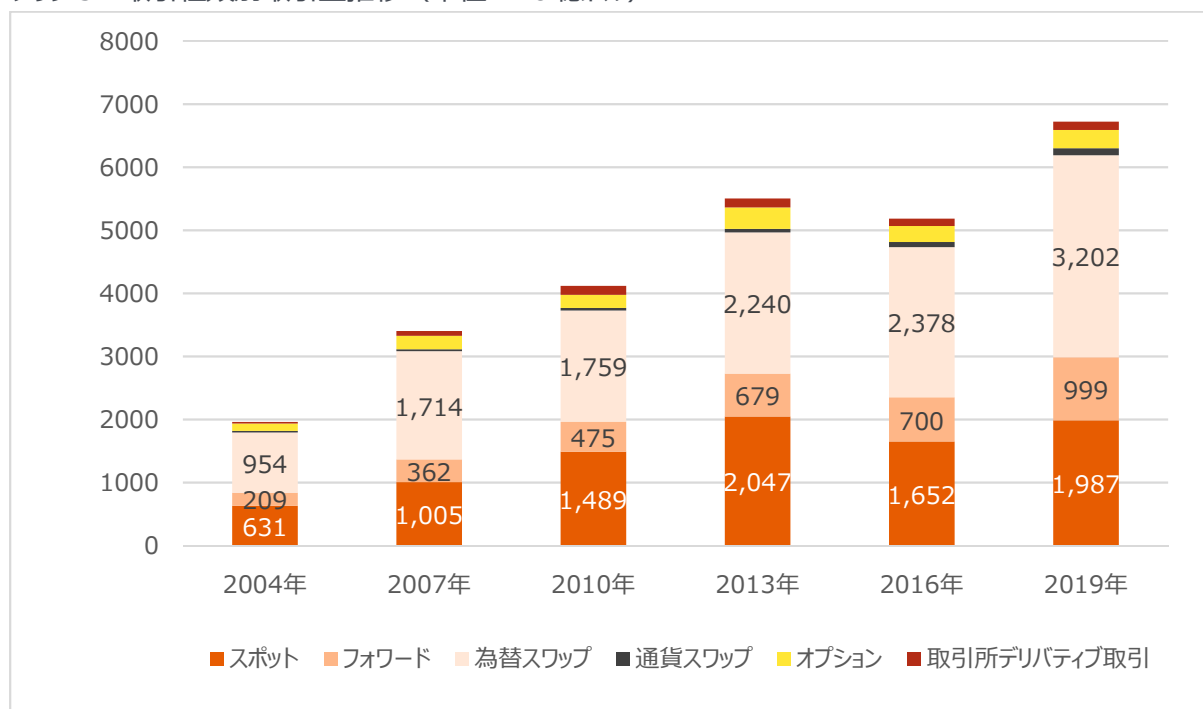
表2：主要通貨ペア別取引量及び取引量シェアの推移（ネット・ネット・ベース）

取引量 (単位：10億ドル)	2013年		2016年		2019年	
	取引量	シェア(%)	取引量	シェア(%)	取引量	シェア(%)
米ドル/ユーロ	1,292	24.1	1,172	23.1	1,584	24.0
米ドル/日本円	980	18.3	901	17.8	871	13.2
米ドル/英ポンド	473	8.8	470	9.3	630	9.6
米ドル/豪ドル	364	6.8	262	5.2	358	5.4
米ドル/カナダ・ドル	200	3.7	218	4.3	287	4.4
米ドル/人民元	113	2.1	192	3.8	269	4.1
米ドル/スイス・フラン	184	3.4	180	3.6	228	3.5
米ドル/香港ドル	69	1.3	77	1.5	219	3.3
米ドル/韓国ウォン	60	1.1	78	1.5	125	1.9
米ドル/インド・ルピー	50	0.9	56	1.1	110	1.7
米ドル/シンガポール・ドル	65	1.2	81	1.6	110	1.7
米ドル/ニュージーランド・ドル	82	1.5	78	1.5	107	1.6
米ドル/メキシコ・ペソ	128	2.4	90	1.8	105	1.6
米ドル/ブラジル・リアル	48	0.9	45	0.9	66	1.0
米ドル/露ルーブル	79	1.5	53	1.1	63	1.0
米ドル/南アフリカ・ランド	51	1.0	40	0.8	62	0.9
米ドル/トルコ・リラ	63	1.2	64	1.3	62	0.9
米ドル/台湾ドル	22	0.4	31	0.6	59	0.9
ユーロ/英ポンド	102	1.9	100	2.0	131	2.0
ユーロ/日本円	148	2.8	79	1.6	114	1.7
ユーロ/スイス・フラン	71	1.3	44	0.9	73	1.1
ユーロ/スウェーデン・クローネ	28	0.5	36	0.7	36	0.5
ユーロ/ノルウェー・クローネ	20	0.4	28	0.6	33	0.5
日本円/豪ドル	46	0.9	31	0.6	35	0.5
日本円/カナダ・ドル	6	0.1	7	0.1	7	0.1
日本円/ニュージーランド・ドル	5	0.1	5	0.1	6	0.1
日本円/トルコ・リラ	1	0	3	0.1	6	0.1
日本円/南アフリカ・ランド	4	0.1	3	0.1	5	0.1
日本円/ブラジル・リアル	3	0.1	1	0	2	0
<b>全通貨ペア</b>	<b>5,357</b>	<b>100</b>	<b>5,066</b>	<b>100</b>	<b>6,590</b>	<b>100</b>

出所：「Triennial Central Bank Survey of Foreign Exchange and Over-the-counter (OTC) Derivatives Markets in 2019、September 2019」よりブライト・アセット作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライト・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。

グラフ3：取引種別別取引量推移（単位：10億ドル）



出所：「Triennial Central Bank Survey of Foreign Exchange and Over-the-counter (OTC) Derivatives Markets in 2019, September 2019」よりブライト・アセット作成

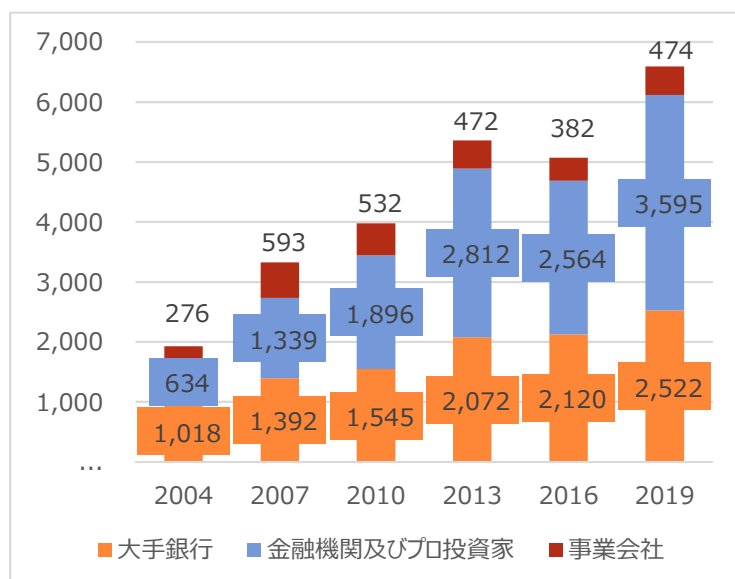
表3：取引種別別取引量の推移（ネット・ネット・ベース<sup>※2</sup>、単位：10億ドル）

	2004年	2007年	2010年	2013年	2016年	2019年
スポット	631	1,005	1,489	2,047	1,652	1,987
フォワード	209	362	475	679	700	999
為替スワップ	954	1,714	1,759	2,240	2,378	3,202
通貨スワップ	21	31	43	54	82	108
オプション	119	212	207	337	254	294
（取引所デリバティブ取引） <sup>※3</sup>	25	77	144	145	115	127
取引量全体	1,854	3,071	3,602	4,827	4,958	6,590

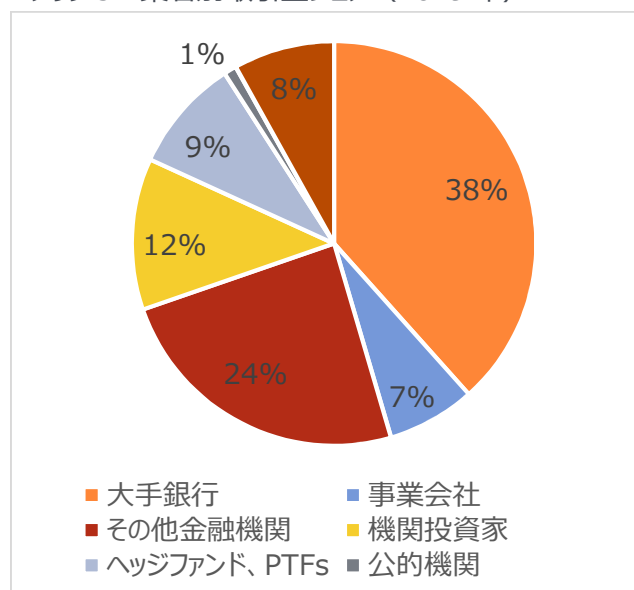
※2：ネット・ネット・ベース：双方向取引の双方を集計。

※3：出所は、Euromoney Trade data、Futures Industry Association、The Options Clearing Corporation、BIS derivatives statistics、Foreign exchange futures and options traded worldwide

グラフ4：業者別取引量の推移（単位：10億ドル）



グラフ5：業者別取引量シェア（2019年）



出所：「Triennial Central Bank Survey of Foreign Exchange and Over-the-counter (OTC) Derivatives Markets in 2019, September 2019」よりブライト・アセット作成

表4：業者別・取引種類別一覧（単位：10億ドル）

	全体	スポット	フォワード	為替スワップ	通貨スワップ	オプション
大手銀行	2,522	593	268	1,498	56	107
中小銀行	1,612	448	126	<b>966</b>	22	50
機関投資家	777	308	215	212	8	33
ヘッジファンド、PTFs	593	261	154	123	11	44
政府機関	89	18	21	48	1	1
その他	524	200	99	187	5	33
事業会社	474	159	116	166	6	27
(プライム・ブローカー)	1,488	918	252	218	0	100
(リテール)	201	66	13	97	0	25

出所：「Triennial Central Bank Survey of Foreign Exchange and Over-the-counter (OTC) Derivatives Markets in 2019, September 2019」よりブライト・アセット作成



表5：国別為替取引量ランキング・シェア推移

(単位：%)	2004年	2007年	2010年	2013年	2016年	2019年
イギリス	32.0	34.6	36.7	40.8	36.9	<b>43.1</b>
アメリカ	19.1	17.4	17.9	18.9	19.5	<b>16.5</b>
シンガポール	5.1	5.6	5.3	5.7	7.9	<b>7.6</b>
香港	4.1	4.2	4.7	4.1	6.7	<b>7.6</b>
日本	8.0	5.8	6.2	5.6	6.1	<b>4.5</b>
スイス	3.3	5.9	4.9	3.2	2.4	<b>3.3</b>
フランス	2.6	3.0	3.0	2.8	2.8	<b>2.0</b>
中国	0.0	0.2	0.4	0.7	1.1	<b>1.6</b>
ドイツ	4.6	2.4	2.2	1.7	1.8	<b>1.5</b>
オーストラリア	4.1	4.1	3.8	2.7	1.9	<b>1.4</b>
カナダ	2.3	1.5	1.2	1.0	1.3	<b>1.3</b>
デンマーク	1.6	2.1	2.4	1.8	1.5	<b>0.8</b>
オランダ	2.0	0.6	0.4	1.7	1.3	<b>0.8</b>
ルクセンブルグ	0.6	1.0	0.7	0.8	0.6	<b>0.7</b>
韓国	0.8	0.8	0.9	0.7	0.7	<b>0.7</b>
ロシア	1.1	1.2	0.8	0.9	0.7	<b>0.6</b>
UAE						<b>0.6</b>

出所：「Triennial Central Bank Survey of Foreign Exchange and Over-the-counter (OTC) Derivatives Markets in 2019、September 2019」よりブライト・アセット作成